



第16回全国中学生空手道選抜大会に出場

水野蒼さん



PROFILE

みずの そう (佐倉一區)
常葉大学付属菊川中学2年生

得意な形はセーパイ、クルルンファ、スーパーリンペイ

昨年10月24日に開催された「第16回静岡県空手道連盟中学1・2年生空手道選抜大会」で4位になった常葉大学付属菊川中学校2年の水野蒼さん(佐倉一區)が、3月29日から30日にかけて開催された「第16回全国中学生空手道選抜大会」に出場した。

蒼さんは、小学1年生のとき静岡剛柔館相良道場で空手を始めた。当初は、空手の難しさから、「練習に行きたくない」と思っていたという。その後、少しずつ練習の成果が結果に現れるようになると、達成感から楽しさを実感するようになり、徐々に空手にのめり込んでいった。小学2年生の時に初めて表彰台に立ったという蒼さん。それ以降、「負けたくない」という気持ち

を糧に、全国大会出場を目標に努力を重ねてきた。

全国大会初出場

空手に打ち込み始めて7年、蒼さんは県大会ベスト4に入り、ようやく全国大会出場の切符を手に入れた。全国大会

に向けて、週3回だった道場での練習に自主練習を加え、来る日も来る日も鏡の前で自身の形の細部の修正を繰り返した。

迎えた大会当日、足が震えるほど緊張する中、自身を鼓舞し試合に臨んだ。演武終了後は、同じグループの選手の演武と点数発表のたび、緊張が走った。結果は1回戦敗退。蒼さんは「努力を重ねた分、悔しい気持ちで涙が溢れました」と振り返る。

2回目の全国大会を目指して

蒼さんは、形を演武するとき、呼吸の仕方を意識する。「力を入れたり抜いたり」と、緩急をつけることで形に力強さが生まれます。練習を重ねると自然に動作に呼吸が連動していくんです」と話す。

蒼さんの次の目標は、今秋に開催される第17回静岡県空手道連盟中学1・2年生空手道選抜大会で優勝し、再び全国大会に出場すること。今まで以上に細部までこだわった形を身に付け、全国大会で活躍することを願っている。